

田川地区高校総体

- 1 主催 : 田川地区高等学校体育連盟
- 2 後援 : 鶴岡市教育委員会 鶴岡卓球協会
- 3 主管 : 田川地区高体連卓球専門部
- 4 日時 : 5月7日(土) 8時30分 開場・準備・練習
9時00分 監督会議
9時30分 開会式(終了次第試合開始)
5月8日(日) 8時30分 開場・練習
9時15分 競技開始
- 5 会場 : 藤島町民体育館
- 6 参加資格 : 大会基本要項に準じる
- 7 競技種目 : 学校対抗 個人の部 ダブルス シングルス
- 8 競技方法 :
 - (1) 学校対抗は1複4単とし3番にダブルスを置き、ダブルスに出場した選手もシングルスに出場できるが、シングルの1番、2番に出た選手同士でダブルスを組むことはできない。
 - (2) 原則的に各種目ともトーナメント方式により優勝を決する。ただし、出場数によっては顧問会議において協議する。
- 9 競技規則 :
 - (1) 現行の日本卓球ルールを準用する。
 - (2) 規定のゼッケンを必ず背中につけること。又、学校対抗並びにダブルスに出場する選手はJTTAロゴマーク入りの同一の服装を着用すること。
 - (3) 引率責任者は、団体の場合校長の認める当該校の職員とする。個人の場合は校長の認める学校の職員とする。
 - (4) 監督、アドバイザーは校長が認める指導者とし、それが外部指導者の場合はスポーツ安全保険(傷害・賠償責任保険等)に必ず加入することを条件とする。またその場合、当該チームの監督またはコーチとして(財)日本卓球協会に登録すること。また、当該校長の承認を受け、保険加入証明(写し)とともに、指定された申請書を地区理事を通して県高体連卓球専門部に提出すること。なお、本手続きは当該年度の4月中に完了すること(本地区は春季地区総体初日の朝まででも可)。
 - (5) 外部指導者を監督またはアドバイザーとして大会にエントリーする場合は、1チーム1名とする。また、他校の監督またはアドバイザーを兼ねることはできない。
 - (6) 大会途中で外部指導者による監督が降板するときは、所定の手続きを経て、引率責任者が代行をつとめることができる。
 - (7) 団体戦は、対戦チーム双方からエントリー選手のうち1名を審判にあてる。
 - (8) 監督、シングルス・ダブルスのアドバイザーについて
学校職員・外部指導者は監督用のJTTAワッペン(平成16年度のもので可)、選手についてはゼッケンを着用すること。
アドバイザーは、試合開始時に選手とともに競技場に入場する。試合途中でコートを手離してもよいが、以後はそのコートに復帰できない。
- 10 使用球 : ニッタク硬球40mm(白)
- 11 代表数 :

学校対抗	男子	6チーム	女子	3チーム
ダブルス	男子	10組	女子	6組
シングルス	男子	24名+1		

(+1は、昨年度県新人ベスト8の鶴工佐藤賢司が推薦出場のため)
女子 12名
- 12 顧問総会及び組合せ会議 : 4月22日(金)14:00~
鶴岡北高(後日文書で連絡)
- 13 締め切り : 学校一括田川地区高体連事務局まで(4月21日15:00締切)